

【1102】セツキシマブ単剤療法

※初回コース時は「2a セツキシマブ単剤療法【初回】」を使用して下さい。

【投与スケジュール】1コース=7日

1コース

一般名	商品名	略号	投与量	1W
セツキシマブ	アービタックス	Cmab	(初回 400mg/m ²) 2回目以降 250mg/m ²	↓ Day1

【投与日のタイムテーブル】

滴下順	薬品名	用量	投与時間
Day1			
①	ネオレスタール注 10mg	1本	15分
	デカドロン 3.3mg	1本	
	生理食塩液 50mL	1本	
②	アービタックス	250mg/m ²	60分
	生理食塩液 250mL	1本	
③	生理食塩液 100mL	1本	60分

催吐性	最小度(予防的制吐剤使用なし)
組織傷害性	アービタックス: 非炎症性
代表的副作用	>10%・・・皮疹、皮膚乾燥、掻痒、爪囲炎、口内炎、疲労、食欲不振、低 Mg 血症、Infusion Reaction

【注意事項】

(アービタックス)

- infusion reaction を軽減させるため、投与前に抗ヒスタミン剤の前投薬を行うこと。さらに投与前に副腎皮質ホルモン剤を投与すると infusion reaction が軽減することがある(①)
- 投与量と速度: 初回は 400mg/m² を 2 時間かけて、2 回目以降は 250mg/m² を 1 時間かけて点滴投与する(10mg/分以下)(②)
- 終了後はラインを生理食塩液でフラッシュすること(③)
- 投与中は毎回患者の状態に十分に注意し、投与後は1時間の観察期間を設けること(②・③)

レジメン登録承認	2014年12月15日 化学療法委員会
論文名	Open-Label, Uncontrolled, multicenter Phase II Study to Evacuate the Efficacy and Toxicity of Cetuximab As a Single Agent in Patients With Recurrent and/or Metastatic Squamous Cell Carcinoma of the Head and Neck Who Failed to Respond to Platinum-Based Therapy.
掲載雑誌名	J Clin Oncol 2007;25:2171-2177
著者名	Jan B et al.